

令和5年度第2回小中連携研修会総括

1 日時 令和5年11月13日（月） 14：15～16：30

2 場所 鹿児島市立宮小学校

3 内容

(1) 授業参観（14：15～15：00）

各学年の授業の様子を参観しました。「学習者主体の授業の在り方」を参観の視点とした授業について、各小中学校の先生方から次のような感想が寄せられました。

- 学習者主体の授業ということで授業を参観しての一番の感想は、参観する側（教師）の意識改革が大事だと思いました。そして、これから私達が目指す授業とは、教育とはということを保護者や地域にも発信していくことも大切だと思いました。
- 6年生の授業が興味深かったです。授業研究をしたら面白そうだと思いました。

(2) 分科会（15：15～16：30）

学習方法分科会、生徒指導分科会、特別支援教育分科会に分かれ、令和5年度の共通実践事項に関する意見共有を行ったり、今後の実践について協議したりしました。

ア 学習方法分科会

【共通実践① 学習のしつけの徹底】

- 落ち着いて授業に取り組めるよう、各学校の実態に応じた取組を継続する。
- 忘れ物をなくすための方法や忘れたときの対処法を子供自身に考えさせる。

【共通実践② 条件や目的に応じて自分の考えを表現（書く、話す）する力を高める指導の充実】

- 学習用語一覧を作成している小学校の実践に倣うなど、学びの系統をまず教師がつかんで指導に当たる。
- 表現の型やパターンを引き続き指導していく。
- 「書く・話す」をセットにして、発表力を高める。

【共通実践③ 家庭学習強調週間の設定と家庭との連携】

- 量より質への転換を図る。
- 適切な学習環境に関する家庭への啓発を一層充実させる。

※ 次年度の共通実践事項は、共通実践事項②の「書きまとめる」を「表現する（書く・話す）」に改めて、令和6年度に引き継ぐ。

イ 生徒指導分科会

【共通実践① メディアとの付き合い方に関するルール】

- 提案された「家庭でのルールづくり」に関する資料を再検討し、各学校での共通実践化につなげる。
- 各学校のルールを見直し、指導の徹底を図る。
- スマホについては、中学校の入学説明会がチャンス。親子を対象とした講話は今後とも有効ではないか。

【共通実践② アンケートの年5回以上実施】

- アンケート結果を生かし、教育相談の充実や全校体制での支援に役立てる。
- 時間確保や実施・集約方法の簡素化を検討していく（フォームの活用等）。

【共通実践③ Teamsでグループへの参加】

- どのように活用していくか、今後とも話し合う必要がある。
- 活用の仕方がよく分からなかった。

## ウ 特別支援教育分科会

### 【共通実践① 効果的なICT活用の推進】

- 目的を明確にして、目的に応じた効果的なアプリを今後とも活用していく。
- 使用上のルールを守らせるアイデアを共有していく。

### 【共通実践② 学校間の連携（Teams活用や研修案内、見学の実施）】

- 中学校見学は、吉田南中学校と連携しながら、実施することができた。
- 自立活動の在り方について教材の共有を行い、自立活動の充実を図りたい。
- Teamsグループの活用にあたって、メンバー登録はしたが、うまく活用できなかった。具体的な活用方法を紹介し合うなどの工夫をしていく。

## 4 令和6年度に向けて（第2回推進委員会の検討事項）

第1回、第2回研修会のアンケートを基に、1月25日（木）に行われる第2回推進委員会では、次のことを協議します。

### (1) 令和5年度の小・中連携研修会のまとめ（令和6年度に向けた検討事項）

- ア 年間2回の研修会への参加方法について（全員参加か代表者かリモートか）
- イ 授業参観の実施の有無について
  - (ア) 実施するか、実施しないか
  - (イ) 両研修会とも実施しない場合、第1回研修会の会場校をどこにするか。
- ウ 分科会に位置付ける部会について（養護教諭部会と各教科部会新設の可否）
- エ 令和6年度におけるTeamsグループの運用（日常的な連携の場）について

### (2) 令和6年度の小・中連携研修会の在り方の提案

令和6年度の担当校は本名小学校です。開催要項の素案について、作成をお願いいたします（「令和5年度の小・中連携研修会のまとめ」で協議した内容を加味した実施要項については、来年度の第1回推進委員会で協議・決定されます）。

## 5 その他

11月13日（月）の分科会終了後、吉田南中学校の英語科の先生を発起人として、吉田南中学校区共通のCan-Dolist作成に向けた情報交換会が行われました。また、12月26日（火）に吉田南中学校を会場として、Can-Dolist案の検討会が行われました。各教科の指導内容や指導方法等について、9か年を通した学びの形を追究することは大変意義深いことです。今後、各教科等の学びについても連携を深めていくことができれば、子供たちの学びは更に充実したものになると思われま



【Can-Dolist作成に向けた情報交換会】

ができれば、子供たちの学びは更に充実したものになると思われま